

あなたらしい暮らしを社会全体で支え合う/
介護保険制度



「介護が必要な高齢者を社会全体で支えよう」という目的で、平成12年からスタートした介護保険制度。今回は、制度を取り巻く現状などを紹介します。

◎問い合わせ 介護保険課 ☎23-2114

介護保険制度は、高齢者の介護に無くてはならないもの

介護保険制度は、制度創設以来21年を経過し、65歳以上被保険者が約1・7倍に増加する中で、サービス利用者は約3・4倍に増加。高齢者の介護に無くてはならないものとして、定着・発展しています。

2025年問題と2040年問題を知っていますか？

一方で、日本の人口構造に目を向けると、少子高齢化や単身世帯の増加により、医療や介護に要する費用が増大。2025（令和7）年および2040（令和22）年には深刻な問題に直面します。

2025年には「団塊の世代」が後期高齢者になり、要介護認定者のさらなる増加が見込まれていて、本市の認定者数も2025年には、約1万人弱になる見込みです。

また、2040年は「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化し、医療や介護の人材不足がより深刻化する恐れがあります。

※日本全体では、2025年に約7、170万人の15〜64歳人口が、2040年に約5、978万人まで減少する見込みです

誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現に向けて

2040年を見据え、国では「誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現」を目指す取り組みが進められています。

また、市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けられるよう、「地域包括ケアシステム」の推進を図っています。この中で、介護予防や重度化防止の取り組みの一つとして、「住民主体の「こけなからだづくり講座」を実施。自治公民館などで週1回以上椅子に座ってできる体操や健康教育を行っています。介護予防に加えて、仲間づくりにもつながる同講座。人と人のつながりが生まれるなど、地域の元気づくりに寄与するとともに介護予防につながっています。

インタビュー

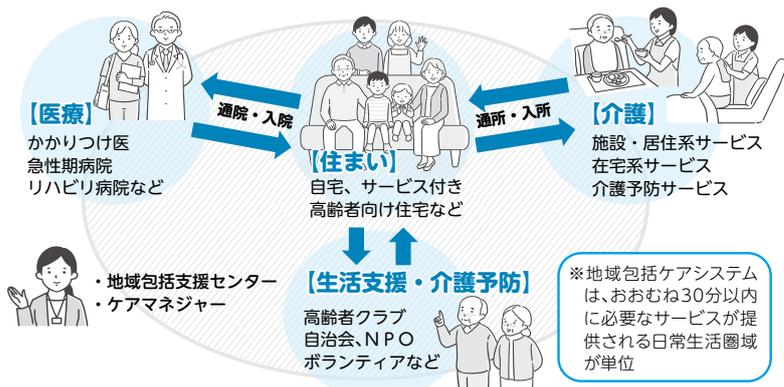
介護保険サービスを適切に利用しましょう



介護保険課 技師 社会福祉士 **樅友作さん**

介護保険サービスは、原則1割の自己負担で利用できますが、残りの9割は介護保険料や公費負担によって賄われています。可能な限り住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、最適なサービスを選ぶことが大切です。介護保険は自立支援です。できていることを少しでも長く、できなくなったことを少しでもできるように上手に使いましょう。

地域包括ケアシステム



「地域包括ケアシステム」とは、医療・介護・介護予防などのサービスを地域で適切に受けられる仕組み